学部開設プログラム一覧（3年プログラム）

経済学部

「グローカル経済を学ぶ」

このプログラムは、グローバル化する現代経済を日本とアジアを中心に地域(ローカル)の視点から学ぶものです。特に、日本の現状、歴史、地域、および、アジアと世界の産業・経済などを多面的に学習することを通じて、現代経済への認識を深めることを目指します。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
日本経済論Ⅰ	春	木2	22.5
日本経済論Ⅱ	秋	木1	22.5
日本経済史Ⅰ	春	木2	22.5
日本経済史Ⅱ	秋	木2	22.5
地域経済論Ⅰ	春	金1	22.5
地域経済論Ⅱ	秋	金1	22.5
中国経済論Ⅰ	春	火4	22.5
中国経済論Ⅱ	秋	火1	22.5
アジア産業論Ⅰ	春	金4	22.5
アジア産業論Ⅱ	秋	金4	22.5
世界経済事情Ⅰ	春	月1	22.5
世界経済事情Ⅱ	秋	木4	22.5
総時間数			270.0

経営学部

「お金と会計を学ぶ」

このプログラムでは、企業の財務や会計を中心に、組織体におけるお金の流れとその管理について学びます。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
会計学総論	春	月5	22.5
国際会計論[2]	春	木2	22.5
財務会計論（応用）	秋	水3	22.5
監査論[2]	秋	木2	22.5
経営分析入門	春	木4	22.5
経営分析論	秋	木4	22.5
管理会計基礎	春	金1	22.5
戦略管理会計	秋	金1	22.5
原価計算システム	春	月4	22.5
コスト・マネジメント	秋	月4	22.5
税務会計論入門	秋	金1	22.5
税務戦略論	秋	金3	22.5
経営財務論（基礎）	春	月4	22.5
経営財務論（応用）	秋	月4	22.5
証券論	春集	水2/金4	45.0
総時間数			360.0

社会学部

「若者文化を社会学で分析する」

このプログラムでは、現代の若者の文化、とくに恋愛事情や結婚事情について、さまざまな具体例にもとづいて知ることを目指します。社会で話題になるような、今どきの若者に見られる現象の背景とメカニズムを理解してもらいます。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
現代社会論	秋集	火2/金3	45.0
文化社会学[2]	秋	月1	22.5
社会階層論[2]	秋	火2	22.5
家族社会学[2]	春	金1	22.5
総時間数			112.5

「社会福祉のアプローチ（ミクロ～メゾレベル）を学ぶ」

このプログラムでは、社会福祉に興味のある方を対象に、ミクロ（個人）レベルからメゾ（地域）レベルでの社会福祉に関する基礎知識を習得できます。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
精神医学A	春	水5	22.5
地域福祉論A	春	金2	22.5
地域福祉論B	秋	金2	22.5
ボランティア論	春	水5	22.5
ボランティアコーディネート論	秋	水5	22.5
総時間数			112.5

※講義内容や担当教員などの詳細は、桃山学院大学のホームページもしくは
2020年度社会人聴講生講義要項(冊子)でご確認いただけます。

国際教養学部

「アジア諸地域の文化・歴史の比較」

このプログラムでは、激動するアジア諸地域の文化や歴史について学びます。それを通じて相互の比較を行い、これらの文化が持つ多様性を認識する一方で、地域や時代に関係なく通底する共通点についても考えることを目標とします。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
アジア文化研究 一韓国・朝鮮文化A	春	火1	22.5
アジア文化研究 一韓国・朝鮮文化B	春	金3	22.5
日本文化史A	春	月3	22.5
日本文化史B	秋	月3	22.5
比較文化研究 一インドネシアと日本の音楽文化A	春	金3	22.5
比較文化研究 一インドネシアと日本の音楽文化B	秋	金3	22.5
総時間数			135.0

「英語と英語圏文化の世界」

このプログラムは、英語学関係と英語圏文化関係の科目を総合的に履修することで、英語という言語に関する理解を深めるとともに、英語圏の文学作品・表象文化の学びを通じて、英語圏文化の根底にあるものの理解を目指します。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
英語学概論A	秋	金4	22.5
英語学概論B	春	金4	22.5
英語の意味A	秋	火4	22.5
英語の意味B	秋	金3	22.5
イギリス文化研究 一ヴィクトリア朝ロンドンの世界A	春	火2	22.5
イギリス文化研究 一ヴィクトリア朝ロンドンの世界B	秋	火2	22.5
総時間数			135.0

「現代のメディアを考える」

私(subject)はその対象(object)を直接には知り得ない。いつも媒介(medium)を通して知ることになる。メディアは公正であるべきだが、果たしてどうか。日本は開かれた国のはずだが、新聞、テレビ、インターネット、情報は溢れているようで、本当に必要な情報はどうだろうか。世界の国々と比較しながら考えていく。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
マルチメディア文化論A	秋	月1	22.5
マルチメディア文化論B	秋	月2	22.5
世界のメディアA	秋	月2	22.5
世界のメディアB	秋	水2	22.5
異文化間コミュニケーション論A　※春・秋どちらか1科目のみ	春・秋	火1(春・秋)	22.5
異文化間コミュニケーション論B　※春・秋どちらか1科目のみ	春・秋	金2(春・秋)	22.5
総合人間学A	春	水1	22.5
総合人間学B	秋	水1	22.5
総時間数			180.0

法学部

「国際関係を法と歴史から考える」

広く国際関係に関わるルール・組織や歴史を学び、現代社会において問題となっている国際的な現象について考えるプログラムです。激動の国際情勢を分析する力を養成します。

科目名称	学期	曜日・時限	時間数
国際関係論	通期	木1	45.0
日本法制史	通期	木3	45.0
地域研究Ⅰ	通期	金3	45.0
国際機構論	春集	火2/金2	45.0
国際法	秋集	火2/金1	45.0
国際政治史	春集	月3/木1	45.0
地域研究Ⅱ	秋集	月1/木3	45.0
総時間数			315.0